

コスパ重視で新たな市場

竹内製作所（川口市）

切削加工…新興国マーケット向け低価格 フルスペック手術台の改良開発計画

あらゆる手術に必要なスベックを標準装備とし、新興国の実情に合わせた低価格かつ多機能な手術台を改めて開発。激化する市場の中で、自社設計・製造により競争力向上を目指す。

新たに開発されたのはリモコン電動油圧式万能手術台。手術台は頭部、背部、腰部、脚部（左右）に4区分されており、台全体が上下に昇降したり、左右に横転前後に縦転するなど、さまざまな手術に対応する。手術台に患者が乗った状態で



新興国用に開発された低価格のフルスペック手術台

エックス線撮影（透視手術）が可能なスライド機能や、電力供給が不安定な新興国の実情を踏まえ停電時のバックアップとして内部バッテリーを兼ね備える。

また、手術では大量の生理食塩水が使われるため、さびに強いステンレスのフレームを採用。腐食対応することで、長年の使用にも耐えられるという。

新興国の市場の中で第一に求められているのはコストパフォーマンス。先進国で使用されている高価な手術台ではなく、各国の市場に応じた製品をいかに低価

格に製造するかを長年、調査研究を重ねてきた。補助金を切っ掛けに、部品を減らした設計と魅力あるアイデアを兼ね備えた製品が実現している。

「リーダーシップを取った製品開発で、ブランド名を売っていきたい」と同社。競合メーカーとの差別化とニーズの変化に合わせた対応力をみせている。

【株式会社竹内製作所】

本社は川口市東領家4-2-12。竹内秀幸代表取締役。1949年に東京都北区で創業。65年、現在地に工場移転する。手術台やストレッチャー（患者運搬車）などの医療用機器の設計・製作・販売を行っており、国内の大学附属病院や国公立病院に納入しているほか、タイやベトナムなど約15カ国にも輸出している。